



ただでさえ嫌になる雨の日の外出です。スーツ姿で大切な書類や商品サンプルなどを持ち出す仕事は何かと気苦労の多いもの。だからこそ、雨の中を来社されたお客様への気配りは欠かせません。

まずは、「お足元の悪い中、ご足労いただきましてありがとうございます」と感謝の言葉を伝えます。私も仕事で雨の中を移動した後、訪

問先の方からかけていただいたこの言葉で、ぬれた衣服を拭きながら「来て良かった」とさすがしく感じた経験があります。

次に、お客様がぬれた傘を持ったままでしたら、「傘をお預かりします」と両手で受け取り、傘立てや傘袋に入れるなどお手伝いを。さらに、社内を歩く際、



雨の日の来客対応 感謝と気遣いの言葉

常にお客様の足元に気を配り、特に階段やエレベーターなどは、「滑りやすくなっております

ですのでご注意ください」と声掛けをしましょう。部屋にお通しをし、飲み物を

お出しする際には、冷たいものと温かいものどちらが良いか、お客様にうかがいましょう。蒸し暑い梅雨時でも、雨にぬれた後は温かい飲み物を好まれる方がいらっしゃるからです。

お帰りの際に「今は上がっておりますが、また降りそうです」など雨の現況を知らせると親切です。そして「次にお目にかかる時には、晴れますように」など、気持ち明るくなる工夫を。雨が上がっていたら、預かった傘をお返しのをお忘れなく。

(ビジネススマナー講師

美月 あきこ)